

チューンアップ基本料金

アライメント診断・調整

- アライメント診断 **15,000円**
- アライメント診断・調整(国産) **20,000円**
- アライメント診断・調整(外車) ... **25,000円から**

ショックアブソーバー/スプリング診断・調整・交換

- サスペンション診断 **6,000円**
- サスペンション診断・調整(車高調含まず) **10,000円**
- スプリング交換(4ストラットタイプ) **25,000円**
- ショックアブソーバー交換(4ストラットタイプ) **25,000円**

※表示価格には、部品代・消費税は含まれておりません。

- お見積りなどお気軽にお問い合わせ下さい。
 - クレジットカード・ショッピングローンもご利用になれます。
- ご予約・お問い合わせは



足廻りの
トータルテクニカル
ショップ

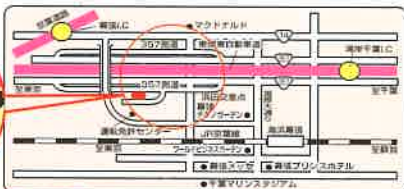
株式会社



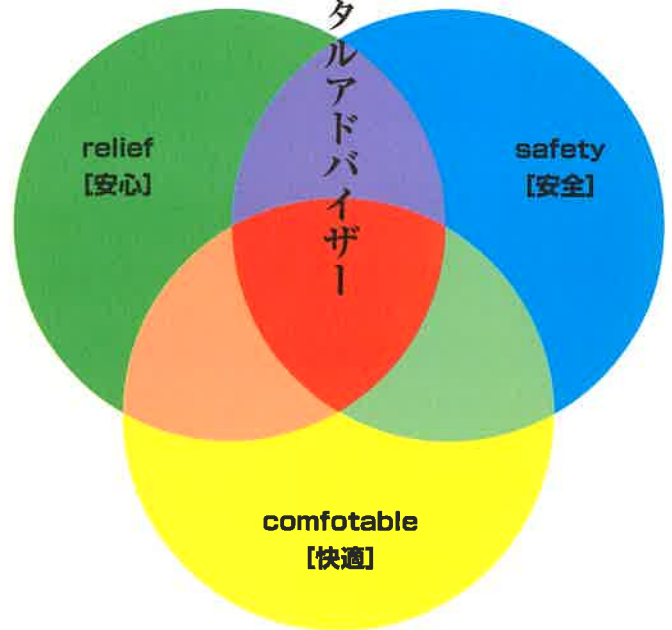
タイヤの達人

TIRE SHOP ジェーティービータイヤ
TEL043-276-1800

FAX: 043-276-1845 営業時間/8:00~18:00 日曜・祝日定休



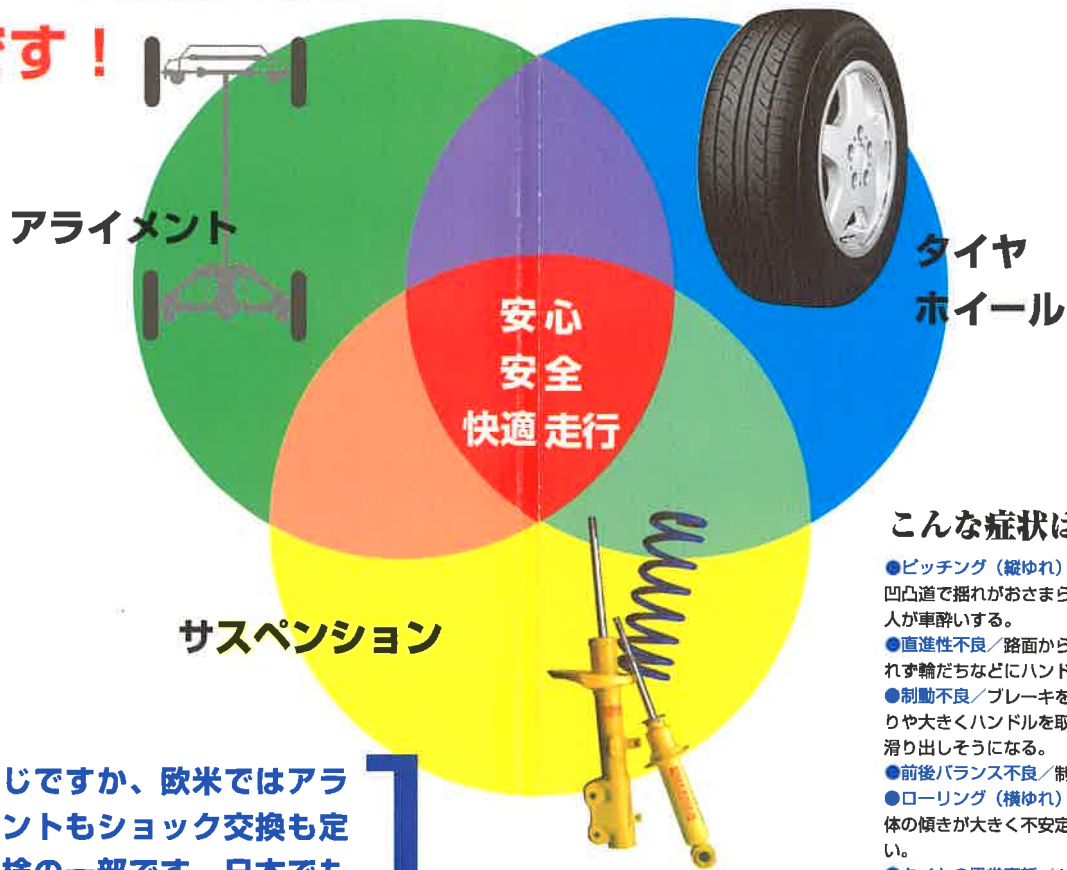
足廻りのトータルアドバイザー



ジェーティービータイヤ
テクニカルショップ

3つのバランス大丈夫!?

どれか一つ欠けても 危険です!



【ご存じですか、欧米ではアライメントもショック交換も定期点検の一部です。日本でも今後注目される整備です。】

こんな症状は危険です

- ピッチング（縦ゆれ）／道路の継ぎ目や凹凸道で揺れがおさまらない。乗っている人が車酔いする。
- 直進性不良／路面からの衝撃を吸収しきれず輪だちにハンドルを取られる。
- 制動不良／ブレーキをかけた時、前のめりや大きくハンドルを取られたり、リアが滑り出しそうになる。
- 前後バランス不良／制動距離が長くなる。
- ローリング（横ゆれ）／コーナーでの車体の傾きが大きく不安定で揺れ返しがひどい。
- タイヤの異常摩耗／タイヤの接地性が悪くなるため接地面が不均等になり、片減り・部分摩耗が発生する。

安心・安全・快適走行＝ 足廻りのバランスです。

例えば人が走るときに、右足がスニーカー、左足が下駄だったら走りずらいですね。車も同じ事です。足廻りのバランスが悪ければ、安心・安全・快適な走行は望めません。それどころか危険な場合さえあります。

そこでJTBタイヤテクニカルショップでは、お客様に足廻り整備の重要性を理解していただくとともに、各種テスターを使用し、愛車本来の走行性能に戻し、大切な愛車をより長く快適にお乗りいただく為に努力します。ぜひ、この機会に愛車の足廻りのバランスをチェックしてみたいはいかがでしょうか。

テクニカルショップからのアドバイス! 見つめてほしい足元を

サスペンションテスター



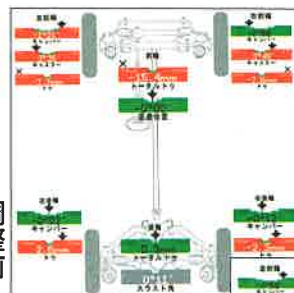
**足回り
チェックで
快適走行**

ショックアブソーバは車両の外側から見えにくい位置に取り付けられていますが、乗り心地を制御するサスペンションパーツの一つで、スプリングと共に、大切な役割をしています。

ショックの機能が低下すると小さな衝撃でも車は揺れ始め、次々に受ける衝撃で振幅はさらに大きくなり、タイヤは跳ね、車はバウンドして走れたものでない状態となり、ピッチング、ローリング、直進性不良等、車の姿勢変化が大きくなります。この姿勢変化がタイヤの接地性を悪くし、制動距離が伸びたり、タイヤの異常摩耗を引き起こすのです。また、左右の調整違いにより、走行性能は著しく変わってきます。クルマがふらついたり、コーナリング時の違和感が感じられた時は診断・交換が必要と考えられています。一般的にショックアブソーバーの交換の目安は、通常走行20,000km~30,000km、スポーツ走行15,000km~20,000kmとされています。

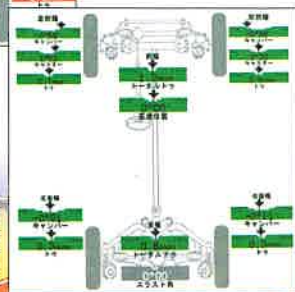
ショックアブソーバはブレーキやタイヤ、ワイパーゴム、クラッチなどと同じように消耗品です。車が走行中に激しい上下運動を繰り返すショックアブソーバの内部で色々な部分が摩耗し劣化していくので、おかしいと思ったら診断をおすすめします。

四輪アライメントテスター

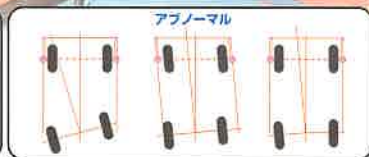
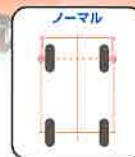
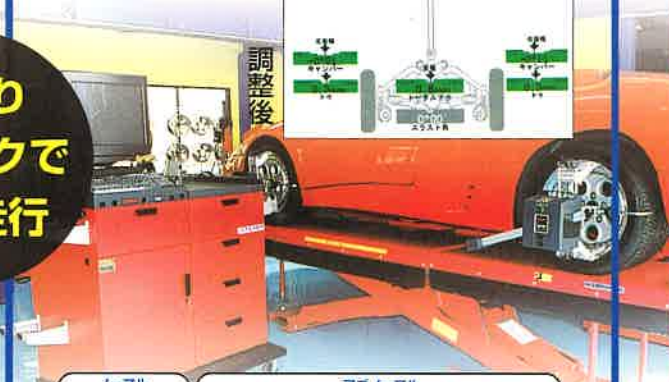


調整前

赤い部分が
狂っている
箇所です。



調整後



直進安定性は、正しい骨格から生まれます。このような症状が1つでもあればアライメントの調整が必要です。

●ハンドルのセンターズレ ●ハンドルの取られ ●タイヤの片べり ●スプリング・ショック交換時 ●ローダウインチUPをして、半数以上の車がミスアライメントのまま走行しています。たとえ一輪のミスアライメントでも操縦性、経済性、乗り心地を損ないます。ハンドルのセンターの狂い、ハンドルが重い、軽い、流れる、復元性が悪い。オーバーステアやアンダーステア特性の異常を感じたら、4輪アライメントが必要です。そのままにしておくとタイヤの異常摩耗、偏摩耗、燃費の低下につながり、乗り心地ももちろん不安定なものになります。